



ゆうひ

《発行》 第196号
 神辺地域振興課(神辺支所内)
 電話 084-962-5026
 「ゆうひ」は、福山市ホームページでもご覧いただけます。



むすびの驛かなべ会議 神辺駅に関する意見交換会



普段使っているJR神辺駅の利活用やこれからを考えるための、駅舎見学及び意見交換会を開催します。

日時、場所:2026年(令和8年)7月16日(木)

18:00~ JR神辺駅東口(駅舎見学)

18:30~ 学校法人福山大学神辺駅前サテライトキャンパス
 ~神な備~(神辺町川南3253-1)

内 容:JR神辺駅の利活用

申込は右記の
二次コードから



神辺駅西側に整備した公園は、5月28日に開催したむすびの驛かなべ会議の参加者からの意見を基に、公園を維持管理する団体の意見を踏まえ、「川南わくわく公園」に決定しました!

人権問題講演会

人権・社会教育活動事業

誰もが幸せに暮らせる社会をつくるために ~人権についてアップデートしてみましょう!~

2025年に改訂した「福山市人権施策基本方針(改訂)」、あわせて「福山市多文化共生推進プラン」など福山市における人権施策の根幹となる方針やプランが策定されました。私たちの周囲にある「無意識の思い込み」に気づき、誰もが幸せに暮らせる地域社会を作るために『人権』についてアップデートしてみませんか

《日時》 **7月4日(土) 10時~11時30分**

《会場》 **かなべ市民交流センター**
 (福山市神辺町大字川北1151番地1)

《講師》 **客本 牧子さん**
 (人権擁護委員/福山市中国帰国者を支える会 代表)

■ **定員 50人(先着順)** ■ **受講無料** ■ **手話通訳あり**

《主催・問合せ・申込》 **神辺地域振興課**

TEL084-962-5026 FAX084-963-4790

神辺を見つめて

~堂々川砂留のホタル~

堂々川ホタル同好会のたゆまぬ環境整備活動によって、1番砂留付近下流から6番砂留・堂々公園にかけて、「ホタル飛翔の名所」として知られています。この写真は、堂々川1番砂留のすぐ下、迫山砂留に舞うホタルの風景です。砂留から落下した水は、2つの水路に分かれ、東は御領、西は湯野方面の田畑を潤しています。

提供 神辺美術協会(S.T)



展示

茶山ポエム絵画展

6月17日(水)～7月20日(月)

2025年度『茶山ポエム絵画展』で最優秀賞、優秀賞を受賞した作品約40点を入れ替えて展示します。あわせて関連本の展示・貸出しを行います。こどもたちが心を込めて描いた絵をご覧ください。

日時 ・1期 6月17日(水)から6月30日(火)

・2期 7月2日(木)から7月20日(月)

ところ かなべ図書館 玄関フロア

講演会「廉塾の樹木と草花」

江戸時代後期の儒学者・漢詩人の菅茶山が「廉塾」に植えた樹木や草花から、茶山の教育と詩への想いについて講演会を行います。

歴史の町、神辺の魅力を再発見してみませんか？

日時 6月28日(日)

13時30分から14時50分

ところ かなべ図書館 会議室

講師 菅波 哲郎さん

(元広島県立歴史博物館副館長兼学芸課長)

対象 どなたでも

定員 30名 申込は不要です

共催 神辺学区まちづくり推進委員会

【開館時間】月～金 10時～19時 / 土・日・祝 10時～18時【6月・7月の休館日】6/16(火)・7/21(火)



ゆうひのまちから

5月21日はユネスコが制定した「対話と発展のための世界文化多様性デー」だそうだ。世界各国の異なる文化への理解を深め、対話を通じて平和につなげようという日。多様性と聞くと、外国人に関わることや性的マイノリティに関わる課題と限定的に捉えてしまう傾向があるが、多様性の課題である文化的理解の必要性はとても身近な環境にも存在している。

最近、VTuber（ブイチューバー）というものが人気らしい。正式にはバーチャルユーチューバーと言うが、2Dや3Dのアニメーションキャラクター（アバター）の姿で動画配信などをする活動者のことだ。先日このブイチューバーのライブを見る機会があった。

先に述べたようにブイチューバーはアニメーションキャラクターだが、幕張メッセや全国のホール等でライブを催し、大手事務所が開催する周年フェスでは、2日間で約7万人規模の集客を得て開催されている。そのライブは、お客も楽器演奏者も生身の人間だが、ステージで歌う演者だけが3Dアニメーションキャラクターという状況に、大いに戸惑い、不思議な感覚を覚えた。

筆者も若い頃は、アイドルに夢中になりコンサートに熱狂したことがある。当時アイドルは生身の人間であったが、今は、生身である必要はなくなってきているらしい。何を「推す」かは全て個人の自由意志ということからすれば至極当然のことだが、ギャップを感じずにはいられない。

このギャップを、対話を通じて他者への理解を深めていくことも多様性の推進ということだと気づかされた。自分との価値観の僅かな違いから、物事を否定的に見て批判する、いわゆるアンコンシャスバイアスが、私が戸惑いを感じた根源であったように思う。

自分の時はこうだった。昔はこれが当たり前だった。という過去の経験が物事を否定的に受け止めさせるが、過去からの否定的な意識を行動規範にするか、未来に向けての肯定的な意識を行動規範にするか、自分自身のブラッシュアップのため多様な文化を知ることが大切だと感じた。

ブイチューバーの経済規模は国内だけでも既に1000億円を超え、世界規模では5000億円規模とも推計されている。この数字はこれからもっと膨れ上がると予想されている。文化を知るとは他国との事だけではなく、世代間の文化の違いを理解する事も含まれているのだと改めて自覚する。

今どきの若い者は！と昔言われた私が、今同じ言葉を若者に口にしようとする。あの時の嫌な気持ちはこれだったんだと思う。

～ 藤坂 真治 ～